



(株)大阪防水建設社



維-4

クリアフロー工法

NETIS:KK-160009-A

クリアフロー工法は、高密度ポリエチレン製の帯板状であるライニング材背面に、補強鋼材を装着した更生材(CFエレメント)、およびポリマーセメント系充てん材(CF充てん材)により複合管を築造する大口径管きよを更生する工法です。本工法は、ライニング材背面に補強鋼材を装着させて一体化することにより、管体強度の向上を図っています。また、テーパライニング材を使用することにより急曲線部にも適用でき、下水供用下においても管路内に大きな機械を搬入することなく施工できる工法です。なお、本技術は2019年3月に建設技術審査証明を変更取得しました。



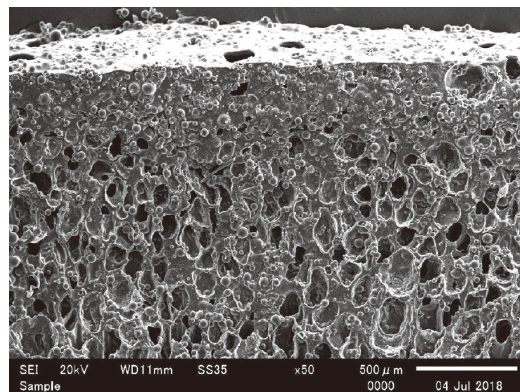
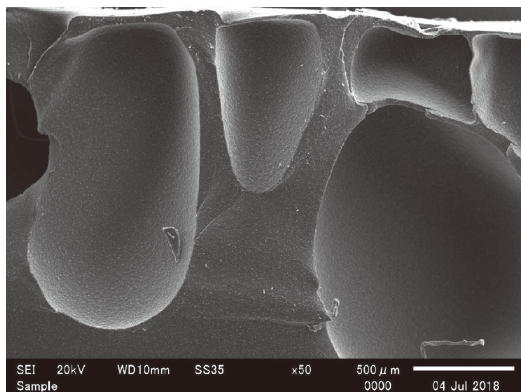
施工写真 □2500×1500

担当部署 大阪支店 PM工事部 担当者 黒松 圭司

Tel 06-6762-5628 Fax 06-6761-8440

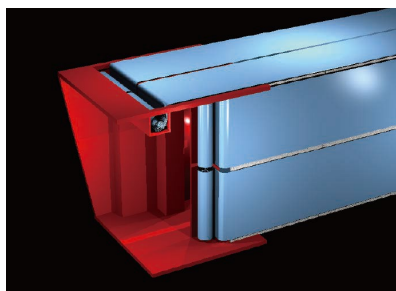
UG- I グラウト (1液型ポリウレタン低収縮性注入材) 特許出願中

- ① 1液性 1液性注入材で安定した硬化物が得られます。
- ② 低収縮 特殊粉体の添加で硬化物の収縮が減少。
- ③ 低粘性 従来品の粘度と同等で細部充填性に優れます。
- ④ 汎用性 従来の注入機械で施工が可能です。(簡易な施工性)
- ⑤ 経済性 長期耐久性が期待できライフサイクルコストが削減できます。



MP & TR 工法

工事桁・防護ルーフ等の推進時に伴う上部地盤の横移動防止と推進力の低減を可能とした工法です。



特許第 6342561 号

エキスパッカロータスルート工法

袋体と複数の吐出口を有する注入外管を所定領域に複数本配置し、袋パッカ間の柱状浸透源から同時に大吐出量で低圧注入することを特長とする工法です。また、単一孔における各ステージへの同時注入が可能です。

